

正和電工株式会社

所在地 旭川市

URL <http://www.seiwa-denko.co.jp>

SDGsに関する主な取組

オガクズでし尿を処理するバイオトイレや備長炭で生活雑排水を処理する新浄化装置により循環型社会の推進に貢献。また、JICAと連携し、ベトナムでのバイオトイレ等を活用した環境改善技術の普及・実証事業にも協力。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「バイオトイレ」

- 水を使わないトイレ
- 災害時にも活用可能
- 使用後のおがくずは肥料に
- 駆除したエゾシカの減料処理で廃棄削減



「雑排水浄化装置」

- バイオトイレと組み合わせ下水道不要
- 木炭及び自然付着の菌類による浄化
→ 特殊な薬剤等不要
- 低価格



環境に優しい商品から持続可能な社会を

きっかけ

JICA北海道と連携したベトナムでの実証事業を契機に、SDGs、特にゴール6を意識

メリット

SDGsは、取り組んでいる主体や地域なども非常に広いので、これまで全く縁のない分野や地域での活動に繋がる可能性がある

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

I - i, II - i, III - ii, III - iv, V - iii

株式会社そうけん

所在地 網走市

URL <http://souken-net.com>

SDGsに関する主な取組

「地域の暮らしの基盤をつくり、守り続ける」「安心して暮らせる未来を子どもたちに残す」ことを目指し、建設サービス活動及びパートナーシップ関係を推進し、SDGsに取り組んでいます。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「地域の暮らしの基盤づくり」

- 各機関と災害時対応協定締結
→建設資材・機器、人員の確保
- リサイクルの推進、使用量削減
- 植樹、清掃活動への協力
→森林等の環境保全



「安心して暮らせる未来づくり」

- 「健康事業所宣言」受動喫煙防止
- インターンシップの受け入れ
- すべての人々が働きやすい環境
→ハラスメント規程整備、育休取得、週休二日



持続可能な社会を地域から

きっかけ

SDGsを取り入れることで、社員一人一人が目的意識を持つことや新たな事業展開を期待

取組方針

自分たちができる範囲の目標を設定し、まずは地域から

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

I - i, I - ii, I - v, II - i, II - ii, II - iii, IV - ii, IV - iii, V - i

株式会社玉川組

所在地

恵庭市

URL

<http://www.tamagawagumi.co.jp>

SDGsに関する主な取組

総合建設会社として顧客の希望に応じた建造物の作成や工事を通じてのインフラ整備へ貢献。また、環境に配慮したリサイクル製品の使用や化石燃料の使用の削減に資するエコ機械、エコ車両の使用を推進。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「工事等の総合建設」

- 顧客の希望に応じた造形物の作成
→ 専門の知識・ノウハウを活用
- 工事を通じたインフラ整備



「環境保全に関する取組」

- リサイクル製品の使用
- 太陽光発電事業への参加
- クリーンエネルギーの使用
- エコ機械、エコ車両の使用



顧客の立場に立った最良の作品を提供

働く環境
づくり

「安全施工第一」の経営理念のもと、COHSMS（建設業労働安全衛生マネジメントシステム）の認定を取得

メリット

環境保全等の取組の推進により、顧客や地域に安心感・満足感・信頼感などを与える

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

I - i, I - ii, I - iv, I - v, II - i, II - ii, II - iii,
IV - i, IV - ii, IV - iii, V - iv

<h1>株式会社テルベ</h1>	所在地	北見市
	URL	http://terube.jp/

SDGsに関する主な取組

障がい者雇用の促進を目的に設立され、印刷事業と椎茸事業を展開。環境に配慮した印刷受注や食品廃棄物の削減のための乾燥椎茸の製造など、企業の社会的責任の実現に取り組む。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「印刷事業」

- 水なし印刷、FSC 認証紙の活用



「椎茸事業」

- JGAP 取得
- 道産材おが粉の利用
- 規格外椎茸を乾燥しいだけに加工







「自立した生活」を送るための環境づくり

- 障がい者雇用で地域の特別支援学校と連携
- 定期的に従業員一人ひとりの状況共有、適正確認
- 健常者によるジョブコーチ






ノーマライゼーションの理念を発信

<p>職場 づくり</p>	<p>地域の特別支援学校と連携した職場実習などを実施 →「障害者活躍企業」の認証を取得</p>
<p>普及啓発</p>	<p>ノーマライゼーションの実践企業として、見学等を広く受入 →共に考える機会に繋がるようノーマライゼーションの理念を発信</p>

関連するゴール	    
関連するビジョンの対応方向	I - v, II - iii

道東SDGs推進協議会

所在地

中標津町

URL

<https://www.facebook.com/easternhokkaidosdgs/>

SDGsに関する主な取組

道東広域地域におけるサステナビリティタウンの実現を目指し、個人、企業、団体、行政が連携し、持続可能な酪農、農業、水産業の実現や道東地域の課題解決等に向けた取組を推進。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「多様な主体による広域連携」

- ・ワークショップの開催
→地域住民が議論する場づくり
- ・地域コミュニティの形成
→持続可能なまちづくりの基盤に



「一次産業の連携推進」

- ・農畜産業、水産業の連携
→持続可能な産業へと発展
- ・地域産業活性化による人材確保
→地域循環共生圏への発展



多様な主体による広域連携を推進

メリット

道東地域は第一次産業を基幹産業としており、共通の課題を抱えているので、広域連携を推進することにより、統合的な課題解決に繋がる

課題

各主体それぞれの考え方が異なるため、簡単に連携は進まない

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

Ⅲ - i, Ⅲ - ii, Ⅲ - iv, IV - ii, V - i

株式会社福地建装

所在地 北斗市

URL <http://www.fas-21.com>

SDGsに関する主な取組

環境性能に優れた住宅・建築物は人々の健康維持を増進するとの考えのもと、全国的に高性能・健康住宅の研究開発・普及活動を推進。また、職人の社員化や女性管理職の登用なども積極的に推進。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「高性能・健康住宅」

- ・ 空気循環システム、高い調湿性能
→ 健康寿命の延伸
- ・ 自立循環型住宅等の普及促進
→ 低炭素化、エネルギー消費少



「働きがいのある職場づくり」

- ・ 職人の社員化、社内研修会の開催
→ 雇用の創出・スキルアップ
- ・ 女性管理職の積極的な登用
→ 女性が働きやすい環境づくり



住む人と幸せを分かち合う家づくり

意識共有

- ・ 有識者の方を招いたSDGs社内勉強会の開催
- ・ フランチャイズグループ向けのSDGs勉強会の開催

メリット

早くから取り組むことにより、トップランナーとして取り上げられる機会が多く、ビジネスチャンスに繋がる

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

I - i, II - ii, II - iii, III - ii

<h1>北海道大学</h1>	所在地	札幌市
	URL	https://www.hokudai.ac.jp

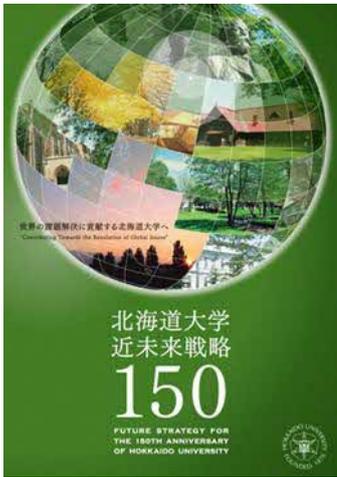
SDGsに関する主な取組

「世界の課題解決に貢献する北海道大学」へ向けて、イノベーションを創出し、社会の改革を主導する人材を育成するため、大学全体で教育・研究・社会貢献を通じた取組を実施。

主な取組

「イノベーションの創出」
 世界の課題解決に向けたセンター等の整備
 ○北極域 ○先端医療 ○海洋 ○感染症
 ○多様な地域

「人材の育成」
 ○新渡戸カレッジ
 ○数理データサイエンス教育研究センター
 ○サステイナブル教育
 ○産学・地域協働連携機構
 ○人材育成本部



「国際連携による教育・研究」
 国際連携研究教育局
 ・世界トップレベルの教員を国内外及び学内から結集
 →海外・学内トップ教員による共同研究
 →研究成果を活かした組織再編

世界の課題解決に貢献する北海道大学へ

<p>これまでの取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な開発」国際戦略の策定 ・G8 大学サミット・札幌サステイナビリティ宣言 ・北大サステイナビリティ・ウィークの実施 ・北大近未来戦略 150 (2014~2026) の策定
<p>今後の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北大近未来戦略 150 による持続可能な社会への貢献 ・分野横断的な機能を担う「北海道大学SDGsワーキンググループ」を発足し、より見える化されたSDGs活動の取り組み、産業界や地域との協働を推進

関連するゴール	
関連するビジョンの対応方向	I-i, I-ii, I-iii, I-iv, I-v, II-i, II-ii, II-iii, III-i, III-ii, III-iii, III-iv, IV-i, IV-ii, IV-iii, V-i, V-ii, V-iii, V-iv

北海道中標津農業高等学校	所在地	中標津町
	URL	https://www.nakashibetsu.jp/nagri/

SDGsに関する主な取組

同校農業クラブでは、農業を主産業に「より発展したまち中標津」「より住みやすいまち中標津」を目指し、SDGsの取組を推進。2019年に内閣府が中高生を対象に募集した「SDGsまちづくりアイデアコンテスト」で優秀賞を受賞。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「農産加工研究班」

- ・地域産業を担う人材育成、地域産業への理解を目的に、高校生や地域の大人が講師となり、小中学生に対する地域教育「なかのうスタイル」を展開
- ・地元食材を活用した特産品開発



「乳加工研究班」

- ・チーズ生産の副産物「ホエー」を活用した新製品開発
- 従来廃棄されたものの有価値化
- 栄養価のある食品開発
- 食品ロス対策



地元を教材により住みやすいまちを研究

地域への
メリット

地元企業・農家や地元の小中学生を交えた視察や体験学習が町内の世代間交流や人材の循環に繋がる

学生の
メリット

- ・地域産業への理解が深まる
- ・プロジェクトの検討による企画・提案力の向上

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

Ⅲ - i, Ⅲ - ii, Ⅲ - iii, IV - i, IV - ii, V - i

株式会社MOKA.

所在地 釧路市

URL <http://www.moka-inc.com>

SDGsに関する主な取組

様々な立場で生活する「人」が生き生きと自分らしく暮らせるために、内職ワーカーの女性による漁網を使用したタワシやタオルの製造のほか、女性が意欲を持って働くことができる環境づくりなどについての研修・コンサルティング等を実施。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「人づくり」

- 女性の求職、起業支援
- (個人、企業)キャリアコンサルティング
- (教育機関)まちづくりを意識したキャリア教育、地域教育



「地域づくり」

- 漁業のまちとして、漁業で使う網から内職ワーカーの女性が作る「漁網タオル」等を製造、販売



釧路らしい商品×女性の多様な働き方

女性の活躍促進

まとまった時間での就労が困難な女性を中心に内職ワーカーとしての仕事を創出することにより、社会とつながりを持つ女性の自分らしい暮らしに繋がる

課題

長期的なビジネスとしての仕組みづくりを考えていく必要がある

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

I - v, III - ii, IV - iii

有限会社ユック

所在地 根室市

URL <http://yukku.jp/>

SDGsに関する主な取組

個体数の増加により、農業・森林・生態系等へ多大な被害を及ぼしているエゾシカを捕獲・買取・飼育し、食肉として有効活用する事業を、同様の事業を行う阿寒や知床等の事業者と協同組合を設立し、展開。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「エゾシカが環境等に与える影響」

- ・ 農業への被害増加
 - ・ 森林や生態系への被害増加
 - ・ 交通事故の多発
- 捕獲、有効活用による被害減少



「食肉としての有効活用」

- ・ 捕獲の推進や雇用の創出
- ・ 地域産品としての食肉活用
- ・ 健康食材としての提供
- ・ 各関係者との連携協力



全道で問題となっているエゾシカを有効活用

これまでの取組

- ・ 駆除されたシカを食肉として流通させるため、道や国の補助も活用しながら、加工工場や大規模養鹿場を整備
- ・ 東京や大阪などを中心に出荷量は年々増加

課題

SDGsに貢献している商品が選ばれるような社会になるなど、誰にでも通じるメリットとなるように、認知度や市民の認識が向上していくことが必要ではないか

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

Ⅱ - i, Ⅱ - iii, Ⅲ - ii, Ⅲ - iv

理研興業株式会社

所在地 **小樽市**
 URL <http://www.riken-kogyo.co.jp/>

SDGsに関する主な取組

安全・強靱な道路等のインフラ構築のため、寒冷地や夜間の安全性を改善する製品や再生可能エネルギーを活用した製品の開発等を実施。また、国内外における実験の見学会や海外における交通安全対策に係る調査等の取組も実施。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「インフラを支える製品開発」

- ・ 防雪柵や夜間誘導指標の開発
→ 冬期や夜間の道路安全性の向上
- ・ 再エネを活用した防雪柵
→ 再生可能エネルギーの利用拡大



「見学会の開催や海外への協力」

- ・ インターンシップ・見学等の受入
→ 学生の育成、知識・経験の共有
- ・ 海外の交通安全対策への協力
→ グローバルな連携の形成



イノベーションでSDGsに貢献

きっかけ

- ・ 最初は自らの活動とSDGsの目標を繋げることを意識
- ・ 現在はSDGsについて伝えていくことも意識

メリット

SDGsにより、異なる業界や分野が結びつけば大きなビジネスチャンスに発展する可能性がある

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

I - ii, II - i, II - ii, II - iii, IV - ii, V - iii, V - iv

株式会社レアックス

所在地 札幌市

URL <http://www.raax.co.jp/>

SDGsに関する主な取組

地質調査会社として調査機器の開発や各種調査を実施。また、JICAと連携し、ボリビア国での井戸診断・改修による井戸の長寿命化プロジェクトを実施するなど安全で安心して飲むことができる飲用水確保への取組を支援。

主な取組とSDGsのゴールとの関連

「調査機器の開発・各種調査の実施」

- 地質、土壌、地下水等の調査機器の開発、各種調査
- 健康的で安全な暮らしに貢献
- 環境に配慮したものづくり



「途上国支援の取組」

- 井戸の長寿命化プロジェクト
- 安心して飲める飲用水の確保
- 途上国技術者への実地研修
- 現地技術者への技術移転



会社の新体制のビジョンとしてSDGsを活用

きっかけ

創業者が引退し、新体制での企業経営を意識していた時期にSDGsを知り、社員が事業の意義を共感するのに活用できると考えた

メリット

近年では金融機関や元請会社などがSDGsに取り組むことが増えてきたので、このような環境の変化をチャンスと受け取り活動

関連するゴール



関連するビジョンの対応方向

I - i, I - ii, I - iv, II - i, II - iii, III - ii, III - iv, IV - i, V - iii, V - iv